

実践例「学校・学級経営の深化・充実」

「課題3 地域に根ざし、家庭や地域と連携した体験活動を通して、豊かな心を育む教育活動の創造・推進」

I 学校名 えりも町立えりも岬小学校

II 学校の概要

本校は、全校児童26名の1・2年複式学級、3・4年複式学級、5・6年複式学級、特別支援学級1学級の学級編成となっています。地域には日高山脈襟裳国定公園が校区内にあり、豊かな自然に囲まれた昆布漁を主とした漁業地域です。7月から10月にかけての昆布漁時期になると、早朝から高学年の児童を中心に家の手伝いをしてから登校するようになります。小さなころから家族の働く姿を目のあたりにし、一緒に働くことで漁業は子どもたちにとってとても身近なものとなっています。

えりも岬地域では漁業の安全や豊漁を祈願するための神楽などの伝統芸能や植樹活動を通じた漁業の再生の取り組みが行われてきており、その歴史などを学ぶ学習を各種団体の協力を頂き本校で取り組んでいます。

III 実践事例

1 伝統的郷土芸能「襟裳神楽」体験活動

航海の難所といわれた襟裳岬沖を通る船の安全と大漁を祈願して舞う襟裳神楽は1814年に襟裳神社が建立されて以来の伝統を持つといわれています。その由来は明らかではありませんが現存する郷土芸能のなかでも、囃子に笛・太鼓・鐘伴奏で、ひよつとこにあわせて舞う獅子舞は珍しいそうです。襟裳神楽は、主にえりも岬地区を中心に受け継がれてきましたが、若者の関心が薄くなり、その伝承のため昭和49年に神楽保存会が結成されました。さらに、昭和57年にはえりも岬少年神楽が誕生しました。少年神楽はその後、活動が行われなくなったようですが、現在、えりも岬小学校の総合的な学習の時間（低学年は余剰の時間の活用）で行われています。

神楽保存会の協力得て、保存会から講師を年12回ほど派遣していただき、練習に取り組んでいます。少年神楽はえりも灯台祭りや町民文化祭など年に4回ほど地域や保護者の前で発表をし、温かく地域、保護者に見守ってもらっています。今年度は祭りなどが中止となったため発表回数が減りましたが、えりも町役場の協力を得てえりも岬でドローンを使い神楽の撮影をしていただきました。また、探究課題として3年生は「神楽の道具や役割」、4年生は「神楽の歴史」、5年生は「神楽と地域のつながり」6年生は「神楽でアピール（発表会を通じたメッセージ）」を設定し学習を行っています。

えりも岬小学校の神楽体験学習は、地域の伝統的郷土芸能を継承する重要な学習となっています。



2 豊かな自然環境生かした体験活動

①植樹活動

えりも岬地域は明治期の伐採により、かつて「えりも砂漠」と呼ばれる地域でした。強風によりむき出しとなった赤土が海に飛ばされ漁業に大きな影響を与えたため、1953年に緑化事業が始まりました。

4年生は社会科副読本でこの歴史を学びます。また総合的な学習の時間の探究課題とする児童もいます。そして、毎年えりも岬の緑を守る会が主催となって行っている植樹祭に3年生以

上が参加し、実際に体験することで植樹活動に対する認識を深める貴重な体験となっています（今年度は中止となりました）。

②地引網体験

漁業に対する理解や磯掃除を通じた地域の環境保全に対する態度を養うことを目的に地引網体験を実施しています。PTA事業部や漁業組合の協力を頂き、地引網体験・磯掃除・ふのりの孢子散布・船に乗って岬を見る体験などを行っています。

今年度、授業として実施できなかったため、地域の有志の方々が地引網体験だけでも希望者にさせてあげたいと準備をさせていただき休日に実施をしました。



③浜のお母さん料理教室

漁協婦人部が高学年の家庭科の授業に参加し、鮭やいくら、昆布などの地元食材を使った調理実習の指導をしています。全校児童分の調理をし、給食時にみんなで食べています。（今年度は中止しました）

IV その他

1 交通安全キャンペーン

えりも岬青少年健全育成会の主催で行っています（今年度は、中止しました）。えりも岬青少年健全育成会は自治会の方が会長となり、PTAや保育所、漁協など各種団体の代表が役員、小学校校長が理事、教頭が事務局長、事務が会計を担当し各種活動を行っています。

交通安全キャンペーンは8月15日にえりも岬を訪れる観光客に地域の特産の昆布を子どもたちが配ります。夏休み中のため参加任意ですが、全校児童が書いた交通安全のメッセージを昆布のパッケージにしています。昆布は、漁協の協力を得ています。そのほか、警察や交通安全指導員の協力を得て実施をしています。

2 もちつき

PTA婦人部が参加し全校でもちつきを行っています。ふかした餅をつくグループとあんこ餅をつくる活動をするグループに分かれ交互に行い、日本の伝統的な風習に触れる活動を行っています（今年度は中止しました）。

3 一日防災学校

地震・津波を想定した避難訓練を地域の方々と共に実施しています。高台までの避難後は、学校に戻り防災車両見学や防災食についての学習などを行います。今年度は、地域参加は代表のみとし、規模を縮小して実施しました。下校時には児童を保護者に引き渡す体験を行います。

4 今後に向けて

地域と目指す子ども像の共有を進め、そのためにより効果的な活動にするためにどうすればよいのか、さらに活動の精選や質の向上を模索していきたい。